

令和6年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・どの学年も落ち着いて主体的に授業に参加し、意欲をもって制作に取り組んでいた。
- ・ICT教材の活用によって、授業内容の理解の促進、個別指導の拡充化がされ、生徒が個々の発想や考えを深め、よりよい表現に繋がるよう指導を行うことができた。
- ・昨年度もほとんどの生徒が清陵祭展示に展示をすることができた。

(2) 課題

- ・制作に時間をかけられるような時間設定・授業展開を引き続き行う必要がある。
- ・課題の意図や方法を理解できない、扱いが難しい生徒に対して、個別指導以外での手立てを検討し、多様な指導方法の充実化が必要である。
- ・ICTの変容に合わせて、より高度で理解やすい授業内容や教材を検討していく必要がある。

2 授業改善のポイント

(1) 知識・技能

- ・現行のICT教材以外に補助教材や動画教材などの種類を増やし、より多様な生徒が理解しやすいような授業改善を行う。
- ・新しい教材や副教材を使用し改善を行いながら、引き続き丁寧で安全な個別指導を心がけ、生徒がより高度な知識・技能を身に付けられるような補助を行う。

(2) 思考・判断・表現

- ・より深く思考し表現できるような仕組みを再検討し、より生徒が使いやすく考えを深めやすい補助教材を検討していく。
- ・作品を鑑賞し多くの考えに触れる機会を小まめに取り入れ、授業の活動を通して多様な価値観や新しい考え・発想に出会える機会を設定する。

(3) 主体的に授業に取り組む態度

- ・生徒が自身の制作や作業計画を振り返り改善策を考えやすいワークシートを検討し、ICTで管理しやすい形態の検討を行う。
- ・ICTなどを活用し、昨年度に引き続き清陵祭展示以外にも学年間を超えた学校全体で作品を共有できるような務める。